

平成 26 年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)  
1 対 1 対談 (いなべ市) 会議録

- 1 開催日時：平成 26 年 8 月 6 日 (水) 9 時 30 分～10 時 30 分
  - 2 開催場所：大安子育て支援センター 1 階 プレイルーム  
(いなべ市大安町門前 531-1)
- 現地視察：笠間保育園
- 3 対談市町名：いなべ市 (いなべ市長 日沖 靖)
  - 4 対談項目：  
(1) 「いなべ市の子育て」の取組について

5 会議録

(1) 開会あいさつ

知事

おはようございます。本日は、日沖市長、お忙しい中、お時間をいただきましてありがとうございます。

今日はこの昨年できた笠間保育園のすばらしい環境の中で、まず、ここで見せていただいて対談をしますが、正にいなべ市が子育てあるいは教育の場面で非常に特色ある先進的な取組をしていただいておりますので、そのお話を聞かせていただきながら、課題の解決と、また、いなべ市さんがやっていたている良い取組が全県に広がっていくように、そういうことでも色々な意見交換をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

先ほど早速、4 歳児 5 歳児の子どもたちと触れさせていただいて、非常に明るい楽しい気持ちになりました。子どもたちが元気いっぱい育っていけるような環境にしていきたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願い致します。

今日は、限られた時間ですが、よろしくお願い致します。

いなべ市長

いなべ市長の日沖です。今日は、鈴木知事、ありがとうございます。わざわざ遠くまでお越しをいただきました。

それと、この笠間保育園、三重県の補助金で多くを賄っております。本当に三重県産材では基本的に躯体からすべて木でということで、90% 三重県産材を使った木造の保育園ということで、三重県から補助金をいただき、林野庁長官賞もいただきました。本当に木造ですべてやるということは、少し苦労などありましたが、皆さんに喜んでいただいて本当にありがとうございます。

それと、保育園のソフト面でも一人ひとり、障がいのお持ちの子もおられるので、そういった子をどのように保育をすればいいのか、そういったアドバイスもあすなる学園や三重県のご支援をいただきながら、そして、定期的に指導

もいただきながら運営をさせていただきます。心より感謝を申し上げます。よろしく願いいたします。

## (2) 対 談

### 1 「いなべ市の子育て」の取組について

#### いなべ市長

「子育て支援」といって、お母さんたちの出産後の育児ノイローゼ、孤立化をなくそうというのが主なねらいです。保育士さんが全世帯を回っておりますので、4回、何らかの形で母子手帳から始まりますが、母子手帳の交付のときに一回顔を合わせて、そして、出産後は健診という形で、そして、読み聞かせという、いろんな段階で、健診も入ってきますが、4回5回、必ずすべての皆さんをお会いさせてもらうようにしています。その中で何か気づきがあれば、どんどん連携を取りながらさせていただこう。保健師さんが中心ですが、それもあすなる学園とか県の保健所とか、いろんなご支援をいただきながら、できれば、データを蓄積して次の予防につなげていきたいというのがねらいですが、その中には子育て支援という形でボランティアの、今日も来ていただいておりますが、多くのボランティアの方に参加をいただいております。そして、この会場でするだけじゃなくて、出向いて地域の公園であったり公民館であったり、いろいろなところでさせていただいております。ご支援をいただいて本当にありがとうございます。

#### 知 事

ありがとうございます。皆さん、こんにちは。ここで市長と僕が対談していますが、子どもたちが走り回ったり、騒いだり、大きな声を出すのは全然OKですから、自然にやってくださいね。

よく、こういう会議とかをやっていて、子どもが泣き出したら静かにしなさいみたいな周りが厳しい目をしたりするのがあるでしょう。全く気にしないでいいですから、好き放題にやってもらったらいいので。よろしくお願いします。

市長が今おっしゃっていただいたこと、いなべ市の子育て支援の取組は、非常にきめ細かで切れ目のない支援なんですね。先ほど市長が4回会うとおっしゃっていただきましたが、この4回会うというのは、なかなかめずらしい先進的な取組です。最初の母子手帳のときと2箇月までに赤ちゃん訪問をやっていたのですが、多くの全国の自治体の市区町村は、2箇月までも完全に赤ちゃん訪問ができないところが多くて、さらに、1歳の健診のときまでに、半年のときにいなべは会っていただくことになっていると思うんですが、この半年目のところでもう一回お母さんたちと会うというのは、全国的にもめずらしいです。非常に丁寧な取組です。正に市長がおっしゃっていただいたとおり、産

後のケア、特に日本で産後のケアが、三重県も全体の制度の中でそうですが、遅れているのは、何か大きな課題が、例えば、めちゃくちゃ産後鬱になってしまったとか、身体的に何か大きな問題があったとか、ハイリスクアプローチと言いますが、大きな課題があった場合には対応するのが日本の多くの母子保健の対応です。

例えば、我々が最近めざしているものとしては、フィンランドの「ネウボラ」というのは、すべての家族、ポピュレーションアプローチといいますが、すべての家族に対してしっかりと産後も家族形成もケアしていこう。例えば、ペアレンティングといって、親が両親になっていくための支援とかをフィンランドの「ネウボラ」というところではやるんです。

僕も受けましたが、日本だと奥さんが妊娠中に病院で父親学級みたいなのを受けますが、日本は生まれてから父親学級みたいなのは受けないんです。でも、フィンランドの「ネウボラ」は、必ず父親学級をみんな受けます。しかも、日本の母子保健みたいに身体的・健康的部分だけじゃなくて、特に3歳から5歳までは、子どもたちに対する発達の状況、発達支援の状況についても見ると。あるいは、夫婦間のDVの問題もないかどうかという家族支援をするということをやっている「ネウボラ」があります。

それといなべ市の子育ての取組の共通していることは、保健師さんを核にして特定の保健師さんになるべく継続的に予防的に支援をするのが、世界の先進的な家族支援といなべ市さんが共通している点です。なので、いなべ市のお母さんたちに来てもらっていますが、世界的に子育ての先進国だと言われているフィンランドとかに共通した非常にいい部分を取り入れていただいている子育ての支援の特徴がいなべ市にあるということなので、非常にこれからも我々も注目していきたいと思っていますし、我々としては、県は市や町がそういう取組をするための人材育成のお手伝いや、あとは、三重県は今年度から妊娠届出時アンケートの統一に向けて取り組んでいます。全県的に。これは、どういうところに課題が潜んでいるかというのをアセスメント、チェック、評価するために、その質問票がバラバラだと、どこに課題が内在しているか分からないので、それを統一的にリスクアセスメントしようということで作り始めました。

そういうことで、県の仕事は人材の育成や、あるいは、リスクや課題を市や町が発見するためのコンテンツづくりなどが県の仕事と思っていますので、いなべ市で取り組んでいただいている子育て支援をこれからもますます応援できるように頑張っていきたいと思います。よろしく願いいたします。

## いなべ市長

人材育成とは本当にありがたいと思います。

保健師さんですが、保健師さんが自分ですべてやってしまうには莫大な数の

保健師さんが要ることになりますので、それは不可能ですから、ボランティアの人に参加をいただいて、そして、その人たちが担えるもの、預けられるものは預けて、コーディネーター的な役割が必要ですので、そして、自分自身は、より専門的な知識も入れながら地域に入っていただくという。だから、保健師さんのレベルアップも必要ですから、県のいろいろなアドバイスをいただけると非常にありがたいと思っております。

それと、少子化です。知事も全国の少子化のプロジェクトに入ってみえますが、その中で性教育が学校の中でなかなかできなかったんです。

たまたま、私もいなべ総合病院の川村先生がそういう教室をやっていただけるということで、中学校でやっていただいています、本当に好評でして、女性のドクターがダイレクトにそのまま言わずとして子どもたち、本当は小学生のほうがいいと言われてはいますが、もう少しこれを充実させていけたらと思っています。

## 知 事

今、日沖市長が言っていた、我々、ライフプラン教育と言っていますが、そういうのをモデルにいなべ市は、県全体では2市1町でやっていただきますが、その一つにいなべ市さんはなってもらいました。これは、県として今回、予算をつけましたが、いなべ市さんは平成22年度から、先ほど言っていたいなべ総合の川村先生を中心に既にやっていただいて、これまで1,800人ぐらいの中学生の子どもたちに性教育、ライフプラン教育をやってきていました。

これは元々は十代とかでの望まれない妊娠などに対して、しっかり知識を持っておくことが大切であるという一方で、現在、晩婚化とか晩産化とか、あるいは、夫婦の6組に1組は不妊治療を受けたりということで、科学的に医学的に妊娠については、どういう時期が、ベストというのはないですが、しっかりとした医学的知識を、女性だけじゃなくて男女共に知ってもらう機会を増やしていくべきではないかというようなことで、今回モデル事業もさせていただくことにしました。

結構、特に女子生徒は、小学校高学年とか中学校になると、そういう性の部分について非常に多感だし、場合によっては気持ち悪いとか言ったりするケースもあるので、教え方、伝え方は非常に細心の注意を払うものの、それはドクターだからやってもらえる部分がありますし、専門的知識に裏付けされているので、説得力もあるし理解もできるということで、今後の自分の人生を描いていくときに、しっかりとした医学的知識を持っておいてもらうのは大切なことなので、そういうのを男女共に学ぶ機会をつくっていくということで、県の中でいなべ市さんに先進的に取り組んでいただいております。ぜひ、これからも

よろしくお願ひしたいと思ひます。

一つお礼を申し上げておきたいのは、県の予算を使つていただいて、ここは何%ぐらいでしたか、70%で、笠間保育園は90%の県産材を利用しての公共施設を建てていただいて、どうもありがとうございました。木材がたくさん利用された施設だと、子どもたちの情緒の安定などに非常に寄与するというデータも林野庁の中に出ていますので、もちろん県産材を使つていただいていますから、県の林業の活性化にもなりますし、積極的に活用していただいていることにお礼を申し上げます。

### (3) 閉会あいさつ

#### 知 事

お父さんお母さんたち、今日はありがとうございました。みんな楽しんでいるところにお騒がせをしてすみませんでした。

日沖市長、今日はどうもありがとうございました。

いなべ市の赤ちゃん訪問など、あるいは子育て支援、中学生たちへのライフプラン教育などの精神的な子育て支援の取組を改めて市長からお話しをいただいて、県としてもしっかりと応援をしていきたいと思つておりますし、全県で少しでもいい子育て支援がさらに進んでいくように頑張りたいと思ひます。

それから、今日来ていただいているお父さんお母さんに一つだけ宣伝ですが、三重県では今、「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」という、例えば、お料理頑張っているとか、本当に仕事で忙しいんだけど、ほんの短い時間を子どもとこういう遊びを工夫して子育て頑張っているとか、育児に当事者意識を持って頑張っているというようなお父さんを、自薦・他薦を問わず募集をしていますので、ぜひ応募していただくとありがたいです。三重県のホームページに載っていますので。ファザー・オブ・ザ・イヤー、今度11月23日になると思ひますが、僕の結婚記念日で、それは関係ないですが、その発表をしたいと思ひますので、自分とこのご主人でもいいですし、ご自身でも周りの人でもいいので、ぜひご推薦いただけたらありがたいと思ひます。

今日はどうもありがとうございました。